



▲ 情報提供
MAIL

ボール追いかけ国際交流

中城でサッカー大会 4言語で開会宣言

【中城】中城村の吉の浦総合スポーツクラブ（末吉義良会長）は19日、第1回サッカー交流大会を村の「ざまる」陸上競技場で開いた。外国にルーツを持つ選手を含む9チームが参加。末吉会長は中国語、ベトナム語、ポルトガル語、うちなーぐちの4言語で開会を宣言した。

大会はリーグ方式。前原高校サッカーチームのOBが中心の「ライフFC」が優勝した。キャプテンの長嶺安邦アレンさん（うるま市）は「自分を含めてチーム内にハーフが3人いるし、いろんな地域の人と国際交流的な感じでサッカーができる、めっちゃいい」とほほ笑んだ。

2位は北谷町内の友人知人でつくる「北谷クラブ」。キャプテンの目取真雄飛さんは「試合中に相手チームで外国語が飛び交った。戦略が読めないのが新鮮でした」と話した。

3位はベトナムの特定技能実習生や留学生などでつくる「HOI TU FC」（キヤブテン＝ファ・レーヴアンさん）だった。

クラブによる次回のサッカー交流大会は10月23日の予定。

（中部報道部・平島夏実）



優勝し笑顔の「ライフFC」=19日、中城村・「ざまる」陸上競技場